第2期滑川市国民健康保険　データヘルス計画(保健事業実施計画)【平成30年度～平成35年度】（概要版）

社会保障制度改革推進法 ―― 消費税増税 ―→ **医療制度改革** ←― 医療と介護の適正化 ―― 目標

同規模区分
同規模保険者数
(258市)
(平成29年度)

保健事業実施計画
(データヘルス計画)
(総論)
平成27年3月

(平成26年度) 保健事業指針を10年ぶりに改正
計画策定手引きの提示

データヘルスを
医療保険各法で明確化(告示→法制化へ)

厚労省
保険局　健康局

KDB
(国保データベース)
↓
評価

p9
【図表7】
p51-52
【参考資料1】

①　医療費の状況(平成28年度)

	滑川市	同規模(平均)
一人当たり医療費 年度累計(月平均)	28,781円 県内4位同規模110位	27,772円
医療費に占める 入院件数の割合	3.4%	3.3%
医療費に占める 入院費の割合	44.0%	43.1%

◎入院を重症化した結果としてとらえる

p51-52
【参考資料1】

②　1件当たり費用額(県内保険者17国保中の順位)(平成28年度)

	脳血患	心疾患	腎不全
入院	72.3万円 (2位)	66.5万円 (8位)	51.1万円 (15位)

	高血圧	脂質異常症	糖尿病
外来	2.8万円 (5位)	2.3万円 (15位)	3.5万円 (11位)

p8
【図表5･6】
p51-52
【参考資料1】

③　介護の状況(平成28年度)

介護給付費 1件当たり給付費 (全体)	滑川市	同規模(平均)
	70,214円	66,717円
1号認定率	20.0%	20.5%
新規認定者率	0.3%	0.3%
2号認定率	0.3%	0.4%

p8
【図表6】

要介護認定者の有病状況	血管疾患(上位3位)		
		高血圧	71.1%
		糖尿病	54.2%
		脳血管疾患	50.6%

p9
【図表8】
p51-52
【参考資料1】

要介護認定別 医療費(40才以上)	滑川市	同規模(平均)
認定あり	10,157円	8,281円
認定なし	4,278円	4,037円

約2.4倍

図1

特定健診・特定保健指導と健康日本21(第二次)

－特定健診・特定保健指導のメリットを活かし、健康日本21(第二次)を着実に推進－

特定健診・特定保健指導の実施率の向上

データの分析

地域・職域のメリット
- ○各地域、各職場特有の健康課題がわかる。
- ○予防する対象者や疾患を特定できる。

〈レセプトを分析すると〉
- ○何の病気で入院しているか、治療を受けているか、なぜ医療費が高くなっているかを知ることができる。

個人のメリット
- ○自らの生活習慣病のリスク保有状況がわかる。
- ○放置するとどうなるか、どの生活習慣を改善すると、リスクが減らせるかがわかる。
- ○生活習慣の改善の方法がわかり、自分で選択できる。

未受診者への受診勧奨

健康のための資源
(受診の機会、治療の機会)
の公平性の確保

○重症化を予防できる
○医療費の伸びを抑制できる

○重症化を予防できる
○死亡を回避できる

健康格差の縮小

短期目標
- メタボリックシンドローム・予備群の減少
- 高血圧の改善
- 脂質異常症の減少
- 糖尿病有病者の増加の抑制

中長期目標
- 脳血管疾患死亡率の減少
- 虚血性心疾患死亡率の減少
- 糖尿病性腎症による新規透析導入患者数の減少

健康寿命の延伸

＊標準的な健診・保健指導プログラム「30年度版」より抜粋

p18
【図表19】
p51-52
【参考資料1】

④　特定健診・保健指導の状況(平成28年度)

	滑川市	同規模(平均)
特定健診受診率	50.7% 県内7位 同規模31位	39.8%
保健指導実施率	36.8%	38.1%

p51-52
【参考資料1】

⑤　メタボ該当・予備群の状況(平成28年度)

メタボ該当者率	20.6%	17.8%
メタボ予備群率	10.5%	10.7%

約3人に1人　メタボが多い！

p17
【図表18】

⑥ 特定健診受診者と未受診者(平成28年度:健診対象者4,547人)

特定健診受診者 2,305人(50.7%)		特定健診未受診者 2,242人(49.3%)	
治療中	治療なし	治療中	治療なし
1,880人 (41.3%)	425人 (9.4%)	1,388人 (30.5%)	854人 (18.8%)

体の状態が把握できない！

⑥ 特定健診受診者と未受診者(平成25年度:健診対象者5,110人)

特定健診受診者 2,267人(44.4%)		特定健診未受診者 2,843人(55.6%)	
治療中	治療なし	治療中	治療なし
1,799人 35.2%	468人 9.2%	1,764人 34.5%	1,079人 21.1%

p17
【図表18】
p51-52
【参考資料1】

⑦　生活習慣病治療費(平成28年度)

健診受診者	10,898円
健診未受診者	33,953円

約3.1倍

p16
【図表17】

⑧　重症化予防対象者の状況(平成28年度)

		重症化予防対象者	メタボリックシンドローム	高血圧	脂質異常症	糖尿病	慢性腎臓病
重症化予防対象者		797人	484人	112人	172人	183人	113人
(再掲)	治療なし	256人	86人 (33.6%)	68人 (26.6%)	137人 (53.5%)	102人 (39.8%)	33人 (12.9%)
	治療中	541人	398人 (73.6%)	44人 (8.1%)	35人 (6.5%)	81人 (15.0%)	80人 (14.8%)

…確実な受診勧奨とメタボリックシンドロームの解決…

【課　題】

①特定健診受診率が50.7%(県内国保保険者(17)のうち7位)・特定保健指導率が36.8%であり、国の目標値60%に及ばず向上が必要。

②メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合が同規模等と比較して高く、約3人に1人。

③健診受診者のうち治療をしていない重症化予防対象者は10.9%(256人)また、治療中(糖尿病、高血圧、脂質異常症など)の方で、メタボ該当者が73.6%(398人)。

④健診も医療も受けていない人18.8%(854人)⇒保険者として、被保険者の健康状態が把握できない。

短　期　目　標

・特定健診受診率・特定保健指導実施率を向上する。

・保健指導・保健事業などにより、糖尿病、高血圧、脂質異常症、メタボリックシンドローム等の減少及び、血糖、血圧、脂質等の検査結果を改善する。

中長期目標

・糖尿病性腎症・虚血性心疾患・脳血管疾患の重症化予防により、医療費の伸びを抑制する。